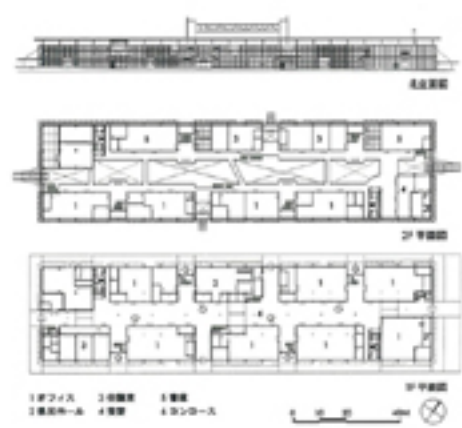
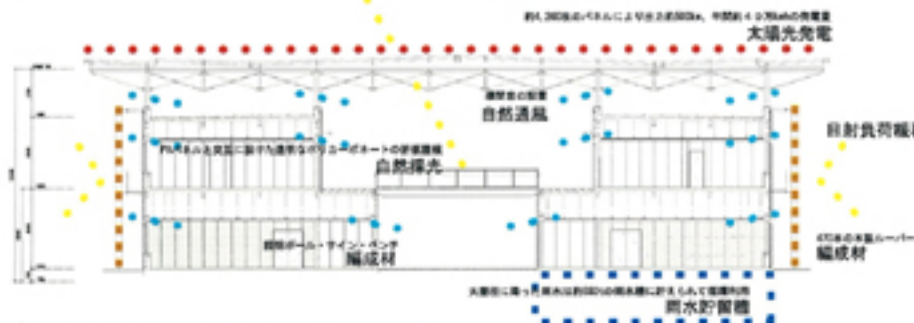


西播磨総合庁舎は兵庫県庁の機能を補完する施設として兵庫県庁第10地区に配置した総合庁舎のひとつである。播磨科学の園部内に建設された西播磨庁舎については「2008年」という大型放射光施設のある都市にふさわしい設備として太陽光発電の大規模な導入が決定されていた。また、「自然と共に成長する森の中の施設」という都市の基本理念にのっとり、さまざまな点から環境に配慮した「グリーン

庁舎」であることも求められた。もともと播磨科学の園部中の周辺は林道の賑わい土地だったこともあり、建物に木質系の素材を使用することで、地域の伝統建築のレンゾムを志したいという要望もあった。ここで決められた設計の条件は、省エネルギーあるいは環境問題あるいは持続可能な設計というようになり、懐かせることができるだろう。そのどれもが、現在、社会から建築に求められることの多い条件であるのは建物の通りである。



国内最大級の発電量

太陽光発電システム設置による環境保全効果

環境省の公表（環境省発表）
 ・太陽光発電による発電量 260万kWh/年
 ・CO2削減効果の換算削減量 210t/年

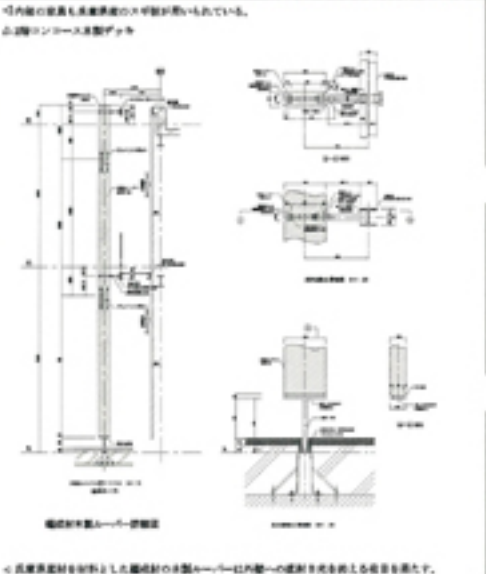
もろ織材（追加削減効果）
 ・省エネ 約3.1%
 ・CO2削減量

国内最大級の発電量

太陽光発電システム設置による環境保全効果

環境省の公表（環境省発表）
 ・太陽光発電による発電量 260万kWh/年
 ・CO2削減効果の換算削減量 210t/年

もろ織材（追加削減効果）
 ・省エネ 約3.1%
 ・CO2削減量



省エネルギーもった太陽光発電の活用

少しは量から、それ以上をまたぎのアンペア・ワットロスなどの点に注意して実地化するが設計作業の中で大きな量減をしようになった。太陽光発電については、実用性をあきらめずかつ観点から、単純なシステムでの標準的なパフォーマンスで良い設備をディファクト標準とし、約4,200枚の太陽パネルにより約500kW、年間の約260万kWhの発電量が実現された。これだけの発電能力を十分に活かせる発電設備である。パネルはほぼガラスの表面積に平均して約20%の引張で設置された大きなパネルを採用することによってパネルの品質を確保し、省エネを実現している。

設置グリッドにより太陽光発電の電気を効率的に活用する

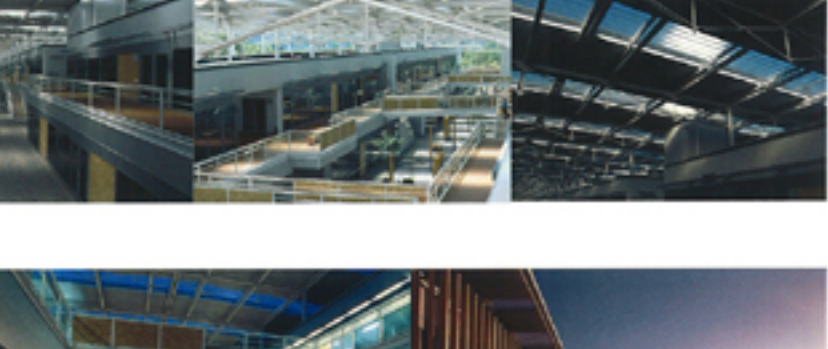
太陽光パネルからの発電量はグリッドによって増減しと変動するが、一般に太陽光発電は、その発電量は一定で、その発電量は一定である。グリッドによって増減しと変動するが、一般に太陽光発電は、その発電量は一定で、その発電量は一定である。グリッドによって増減しと変動するが、一般に太陽光発電は、その発電量は一定で、その発電量は一定である。

もろ織材

もろ織材を利用し、木製カーテンボックスの製作

国産材（約470本の木製カーテンボックス）は、2000mm幅のオーダーメイドで製作している。そのほかにも、高品質の国産材が採用された。もろ織材が採用されている。木製カーテンボックスは、そのほかにも、高品質の国産材が採用された。もろ織材が採用されている。木製カーテンボックスは、そのほかにも、高品質の国産材が採用された。もろ織材が採用されている。

項目	内容	単位	数値
総面積	約10,000㎡	㎡	10,000
延床面積	約8,000㎡	㎡	8,000
太陽光発電	約500kW	kW	500
CO2削減効果	約210t/年	t/年	210
省エネ効果	約3.1%	%	3.1



本案件を担当する、設計総務AOHは、最大級の太陽光発電システムを設置する、省エネルギーの観点から、太陽光発電の導入を推進している。また、省エネルギーの観点から、太陽光発電の導入を推進している。また、省エネルギーの観点から、太陽光発電の導入を推進している。

